

精神看護学方法論	2 年・後期	1 単位 30 時間	准教授 鎌田由美子
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210832

1. 授業のねらい・概要

精神看護学の基礎となる，精神医学の基礎的な知識（精神症状および精神状態像）を把握し，代表的な精神障害について，病態，症状，経過，診断，治療，看護等の概略を理解し，精神の健康問題をもつ人への看護を展開するための知識と方法を理解する。

2. 学修の到達目標

1. 精神症状について理解できる。
2. 主な精神疾患の治療と看護が理解できる。
3. 精神障害の治療法について理解できる。
4. 精神科リハビリテーションについて理解できる。
5. 精神障害者の家族支援・家族看護について理解できる。
6. 精神疾患患者の看護過程が理解できる。

3. 授業の進め方

講義と演習を中心に授業を進める。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	主な精神疾患・障害の特徴と看護 ① 神経症性障害, ストレス関連障害	講義	予習：「精神看護の基礎」P191-201 まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートに追記する。	鎌田
2	主な精神疾患・障害の特徴と看護 ② パーソナリティ障害, 心理的発達障害	講義	予習：「精神看護の基礎」P208-217 読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートに追記する。	鎌田
3	主な精神疾患・障害の特徴と看護 ③ 精神作用物質使用による精神・行動の障害	講義	予習：「精神看護の基礎」P201-207 まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートに追記する。	鎌田
4	主な精神疾患・障害の特徴と看護 ④ 生理的障害, 身体的要因に関連した行動症候群	講義	予習：「精神看護の基礎」P215-216, 229-233 まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートに追記する。	鎌田
5	主な精神疾患・障害の特徴と看護 ⑤ 統合失調症	講義	予習：映画「ビューティフルマインド」を視聴し，統合失調症を患う対象をイメージする。「精神看護の基礎」P165-181 まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートに追記する。	鎌田
6	主な精神疾患・障害の特徴と看護 ⑥ 気分（感情）障害	講義	予習：「精神看護の基礎」P182-191 まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートに追記する。	鎌田
7	精神科におけるリハビリテーション	講義	予習：「精神看護の展開」P70-92 まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートに追記する。	鎌田
8	精神疾患・障害がある者への看護① 家族への看護	講義	予習：「精神看護の基礎」P256-263 まで読んで、自己学習ノートにまとめる。	鎌田

			復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートに追記する。	
9	精神疾患・障害がある者への看護② 社会復帰・社会参加への支援	講義	予習：「精神看護の展開」P116-192 まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートに追記する。	鎌田
10	安全を守る：リスクマネジメントの考え方と方法	講義	予習：「精神看護の展開」P312-347 まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートに追記する。	鎌田
11	看護過程①精神看護学における看護過程の特徴とアセスメント	演習	予習・復習：資料「統合失調症で入院治療中の患者の事例」読んで、5 回目授業内容と照らし合わせて復習する。	鎌田
12	看護過程②：事例・分類	演習	予習：資料「統合失調症で入院治療中の患者の事例」読んで、5 回目授業内容と照らし合わせて復習する。 復習：記録用紙に事例をゴードンのパターンに沿って分類し、記載する。	鎌田
13	看護過程③：事例・アセスメント	演習	予習：記録用紙に事例をゴードンのパターンに沿って分類し、記載する。 復習：記録用紙に分類した情報をアセスメントし、記載する。	鎌田
14	看護過程④：事例・関連図	演習	予習：記録用紙に分類した情報をアセスメントし、記載する。 復習：記録用紙に事例の全体像（関連図）を記載する。	鎌田
15	看護過程・まとめ	講義	予習・復習：記録用紙に記載した内容を資料と照らし合わせて見直す。	鎌田

5. 成績評価の方法・基準

定期試験 90%，授業中の態度 10%を総合して評価する。

6. テキスト・参考文献

系統看護学講座 精神看護学 1 精神看護の基礎 医学書院
系統看護学講座 精神看護学 2 精神看護の展開 医学書院

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの範囲および事前事後学修（学修課題）をみて、関連するテキストで事前学習して臨むこと。
毎回、最低 1 時間以上予習・復習し受講すること。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻や授業中の私語、授業中に授業に関連する作業以外の行動、提出物は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

定期試験の解答は試験後に口頭や掲示でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関等における看護師としての実務経験を活かして、講義・演習を行う。